

## 則武三雄 略年譜

年	年齢	年譜事項／著作
1909 (明治 42)	0	2月11日、米子市に、父・則武定次、母・冬 の長男として生まれる。本名は一雄。母方の曾祖父・山本新吉は、火野葦平「蛇体新助」のモデルといわれる。
		外江(現・境港市)、中北条(現・北栄町)、など県内を転々とする。
1915 (大正 4)	6	父・定治死去。以後は母・冬 一人の手で育てられる。
1922 (大正 11)	13	4月、鳥取県立倉吉中学入学。 中学を終える頃、生田春月の主宰する投稿同人誌に詩作品を投稿する。
1926 (大正 15)	17	4月、大阪高等工業学校に入学。10月、同校退学。11月、大阪時事新報社入社(校正部)。
1928 (昭和 3)	19	6月、時事新報社を退社。9月、植民統治下の朝鮮に渡り、10月より新義州にて朝鮮総督府嘱託(雇員)として機関紙『平北警鐘』の編集に携わる。
1933 (昭和 8)	24	この頃、三好達治を知り、生涯の師とする。
1939 (昭和 14)	30	6月、京城の朝鮮総督府警務局保安課勤務となり、『国防の朝鮮』編集に携わる。
1940 (昭和 15)	31	三好達治が朝鮮を訪れ、則武は二ヶ月間ともに旅行する。
1942 (昭和 17)	33	『鴨緑江』(京城府孔徳 301 私版)刊行。
1943 (昭和 18)	34	『鴨緑江』(東京・第一出版協会)刊行。
1945 (昭和 20)	36	詩集『風詠集』(京城府・人文社)刊行。日本の敗戦により、12月母とともに米子に帰郷。この時、弘前に疎開していた太宰治に田中英光の住所を尋ね、翌年1月返信をもらう。
1946 (昭和 21)	37	福井県坂井郡雄島村(現・坂井市)に仮寓していた三好達治の許に身を寄せる。 尼崎精工三国製造所社員となる。
1948 (昭和 23)	39	詩集『二枚の翅』(大分市安部一郎私刊)刊行。
1949 (昭和 24)	40	三国町在住の酒井花枝と結婚。詩集『赤い白鳥』(三国町加藤方美私刊)刊行。
1950 (昭和 25)	41	福井県立図書館職員となる。福井市に転居。長男・継雄 誕生。
1951 (昭和 26)	42	北荘文庫を創設。詩集『浪漫中隊』(北荘文庫)刊行。
1954 (昭和 29)	45	詩集『偽詩人』(北荘文庫)刊行。
1956 (昭和 31)	47	福井市四ッ居町に転居。
1957 (昭和 32)	48	詩集『オルフェ』(私版)刊行。
1961 (昭和 36)	52	詩集『朝鮮詩集』(北荘文庫)刊行。
1962 (昭和 37)	53	『越前若狭文学選』(北荘文庫)刊行。
1964 (昭和 39)	55	福井県立図書館定年退職。福井工業大学附属図書館職員となる。福井県文化賞受賞。 詩集『紙の本』(北荘文庫)刊行。
1965 (昭和 40)	56	『三国と三好達治』(北荘文庫)刊行。
1970 (昭和 45)	61	詩集『持続』(北荘文庫)刊行。
1971 (昭和 46)	62	『えちぜんわかさ文学館』(松見文庫)刊行。
1973 (昭和 48)	64	『幻しの紙』(北荘文庫)刊行。
1974 (昭和 49)	65	福井工業大学附属図書館を退職。
1976 (昭和 51)	67	『紙漉く人』(北荘文庫)刊行。『私本松平忠直』(福井 PR センター出版事業部)刊行。
1977 (昭和 52)	68	杉本直らと「福井詩の会」を結成。福井県内の詩人組織を作る。
1978 (昭和 53)	69	福井市大東中学校校歌作詞。 詩集『葱』(紫陽社)刊行。詩集『詩画集』(北荘文庫)刊行。
1980 (昭和 55)	71	小説『私の鴨緑江』(気争社)刊行。
1981 (昭和 56)	72	『新版 紙の本』(北荘文庫)。詩集『おはる狐』(北荘文庫)刊行。
1982 (昭和 57)	73	『三好達治氏と私』(北荘文庫)刊行。
1983 (昭和 59)	75	詩集『三雄詩集』(北荘文庫)刊行。
1985 (昭和 60)	76	詩集『天麗鷗』(沖積舎)刊行。
1986 (昭和 61)	77	文部大臣表彰受賞。『ズイのズイのズイ』(北荘文庫)刊行。
1987 (昭和 62)	78	『私の鴨緑江』(紫陽社)刊行。
1988 (昭和 63)	79	詩集『青春』(北荘文庫)刊行。
1989 (平成 元)	80	福井県立病院に入院。『私版鴨緑江 附黄真伊』(北荘文庫)刊行。
1990 (平成 2)	81	11月21日、同病院にて死去。享年81。法名・篤実院尚文日雄居士。
1991 (平成 3)		三国町東尋坊に則武三雄詩碑建立。H10年からはしのぶ会「葱忌」が続けられている。
1992 (平成 4)		遺稿詩集『県立病院五病棟』(遺稿詩集県立病院五病棟刊行会)刊行。
1997 (平成 9)		福井市円山公民館内に「則武三雄文学記念コーナー」ができる。
2004 (平成 16)		福井市橘曙覧記念文学館にて「戦後福井文学の先駆者 則武三雄」展が開催される。
2005 (平成 17)		福井市円山公民館によりDVD「ふるさとの詩人 則武三雄」が制作される。
2009 (平成 21)		鳥取県立図書館にて、特別資料展「詩人 則武三雄の軌跡」が開催される。

※この年譜は、福井市橘曙覧記念文学館「戦後福井文学の先駆者 則武三雄」、鳥取県立図書館「詩人則武三雄の軌跡—鳥取、朝鮮、そして福井」を参照した。